地域発のデジタル化推進拠点「せとうち Tech LAB」を 福山市に開設

～地域に寄り添ったデジタル化やビジネスモデルの開拓・開発を推進～

ソフトバンク株式会社　　2021年12月01日

ソフトバンク株式会社は、テクノロジーを地方都市に社会実装することを目的とした、地域発のデジタル化推進拠点「せとうち Tech LAB（テックラボ）」を、2021年12月1日に広島県の福山市に開設します。

「せとうち Tech LAB」は、「福山・備後圏域から瀬戸内へ。瀬戸内から全国へ発信」をコンセプトに掲げた施設で、地域に寄り添ったデジタル化やビジネスモデルの開拓・開発を推進していきます。

「せとうち Tech LAB」では、福山市だけでなく備後圏域さらには瀬戸内のリアルな地域課題を、IoTやAPI※連携などの技術を活用して解決したユースケースや最先端技術を紹介します。トレンドに沿って展示内容を日々アップデートしていくことで、足を運ぶたびに新たな発見や体験ができるようにするとともに、イベントやワークショップ、異業種間交流といった双方向のコミュニケーションの場を定期的に設けることで、より多くの方々にテクノロジーへの理解を深めていただく場として、地域のDX（デジタルトランスフォーメーション）の促進や地域課題の解決を目指します。

[注]※Application Programming Interfaceの略。アプリケーション開発の際に、機能やデータベースを呼び出すためのインターフェース。

「せとうち Tech LAB」の概要

所在地：広島県福山市紅葉町2-27 日本生命福山ビル1階

開設日：2021年12月1日

瀬戸内由来の素材や、地元企業が提供する素材を使用した内装

4面ディスプレーを使用した情報発信が可能なコミュニケーションエリア

地域課題の展示例（API連携）：公共施設や民間企業施設など、さまざまな建物を3Dモデル化

地域課題の展示例（e-kakashi）：農園データを収集・可視化し、最適な栽培判断をアシスト

・SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

・その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。